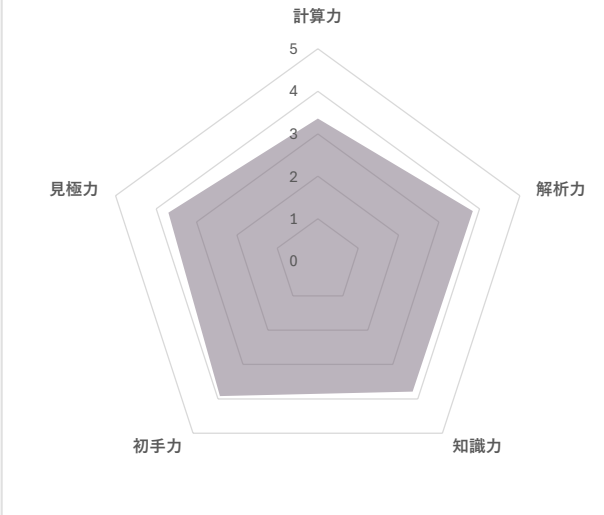


総合分析

試験区分 一般（後期）

制限時間 90分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



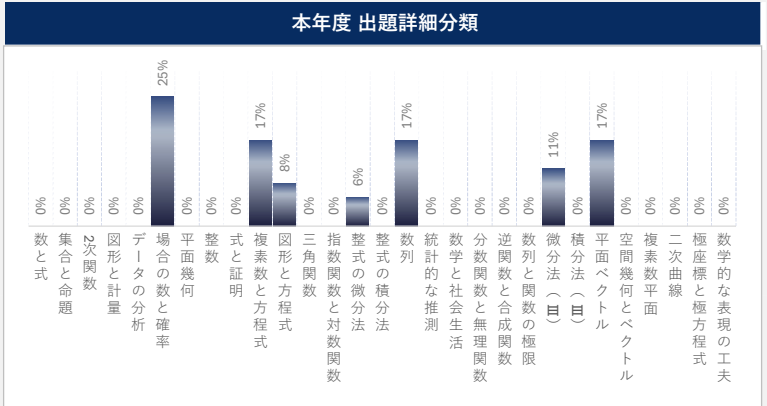
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.2	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.6	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.6	解くことに必要な知識の量
初手力	3.7	初手の難しさ
見極力	3.5	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	0%
数学 A	25%
数学 II	31%
数学 B	17%
数学 III	11%
数学 C	17%

本年度 解答形式  
論述 100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	場合の数・図形と方程式
第2問	4次関数と解と係数の関係
第3問	隣接3項間漸化式
第4問	平面ベクトルと媒介変数の微分



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価					
難度	3.5	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい	一次合格に必要な正答率（予想）	73%
分量	90分	完答に要する時間（制限時間は90分）	標準	高い正答率を要する	

**入試の特徴と対策**

- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておく。

**入試から見る大学が求める学生像**

前期入試や昨年度の後期入試に比べ、難易度としては下がったため受験層を考えるとある程度高得点が必要であろう。ミスが命取りになるセットであることから、前期とは違う層の学生であったり、ミスなく標準的なことをやりきることができる学生を求めていると考えられる。